



元の今野さん
が行政や地域
を担当する者
をとりまと
めの会場担当は
今野さん、赤
間さん、加島
さんです。地
元の今野さん
が行政や地域
を担当する者
をとりまと
めの会場担当は
今野さん、赤
間さん、加島
さんです。

「去年、今年とゴミを拾つてもらつたおかげで、海岸のハマボウフウ保護区付近はだいぶきれいになりました。復興のまだ道半ばのため、地元住民の参加が難しいなか、多くの企業が参加してくれていることは、多くの住民が感謝しています。」と今野さんが話すように、26年秋、27年春と秋の一斉清掃で800名近くの方が閑上海岸のゴミ拾いを行いました。

東日本大震災後、しばらくは河口より少し内陸の閑上大橋付近のゴミ拾いをしていましたが、26年度の秋の一斉清掃から閑上海岸のゴミ拾いを開きました。

「東日本大震災後、しばらくは河口より少し内陸の閑上大橋付近のゴミ拾いをしていましたが、26年度の秋の一斉清掃から閑上海岸のゴミ拾いを開きました。

「去年、今年とゴミを拾つてもらつたおかげで、海岸のハマボウフウ保護区付近はだいぶきれいになりました。復興のまだ道半ばのため、地元住民の参加が難しいなか、多くの企業が参加してくれていることは、多くの住民が感謝しています。」と今野さんが話すように、26年秋、27年春と秋の一斉清掃で800名近くの方々が閑上海岸のゴミ拾いを行いました。

一方で、閑上海岸は場所柄、漁網やブイなど大型のゴミや流木も多いのですが、産廃ゴミは拾つても自治体が処理できないので、参加者には拾うことを紹介するのも良いですね。」と明るい話題がたくさん出でています。

◆広瀬川1万人プロジェクト実行委員会のこれまでの主な活動内容

- 2002年 NPO法人水・環境ネット東北の発案により、仙台市の環境社会実験として「広瀬川1万人委員会」発足。
●広瀬川流域の6会場で一斉清掃を実施。
- 2006年 「広瀬川1万人プロジェクト」に名称を変更し、実行委員会体制とする。
- 2007年 はじめて一斉清掃を春と秋の年2回行う。
●四季の広瀬川を楽曲にした弦楽五重奏曲「広瀬川」の制作発表に協力。
- 2008年 作並会場を担当する市民団体と企業が主体となり、川に親しむイベント「作並かっぱ祭り」を開催。

- 2010年 ●源流散策会やサケの観察会、広瀬川温熱環境測定への協力。
- 2011年 東日本大震災の発生により、秋の一斉清掃のみ実施。
●フォーラム「震災の記憶へ・大津波はどう向き合うか?」を開催。
- 2012年 ●フォーラム「広瀬川の魅力づくりと市民活動」を開催。
- 2013年 累計参加者数10,000人突破。
- 2014年 ●フォーラム「広瀬川で市民・企業・行政をつなごう」を開催。

◆実行委員会への加入について

広瀬川1万人プロジェクトではプロジェクトの目的に賛同して集まった団体・企業などが実行委員会をつくって活動しています。加入の用件はプロジェクトの目的に賛同し、以下の「実行委員会の役割」を担っていただける団体・企業となっております。この趣旨をご了承いただき、私たちと一緒に活動していただける団体・企業を募集しています。加入申込書は、公式サイト<http://10000p.blog76.fc2.com>からダウンロードいただけます。また、清掃活動への参加や実行委員会への協力については個人での参加も大歓迎です。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

◆実行委員の役割

- 1.協賛金の提供 / 広瀬川1万人プロジェクトへの協賛金(1口10,000円/年度毎)のご提供
- 2.事務局業務への協力 / 流域一斉河川清掃実施にむけた、事務局業務への協力や、新規事業の企画運営業務などに関する協力

※以上の役割は、ひとつでも両方でも結構です。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

◆企業の社会的責任等(CSR活動)に関する参加証明書の発行について

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会の主な活動である流域一斉河川清掃は、国土交通省、宮城県、仙台市など公共事業入札総合評価制度におけるボランティア活動への参加実績として、評価対象となっています。実行委員会に加入していただいた団体・企業には、清掃活動に参加いただいた場合、参加証明書を発行できます。詳しくは下記事務局までお問い合わせ願います。

【主 催】広瀬川1万人プロジェクト実行委員会

【協力・後援】国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所/環境省東北地方環境事務所/宮城県/仙台市/名取市/仙台市河川愛護会/仙台商工会議所/(公財)仙台観光国際協会

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会

(株)IHIインフラシステム/JFEエンジニアリング(株)/アイワ工業(株)/旭イノベックス(株)/アジア航測(株)/(株)安藤・間/いであ(株)/伊東工業(株)/(株)エコリス/荏原実業(株)/奥田建設(株)/(株)オリエンタルコンサルタント/回胴式遊技機商業協同組合東北支部/鹿島建設(株)/片山ストラテック(株)/河北建設(株)/川田建設(株)/(株)環境施設/(株)協栄興産/(株)協和エクシオ/工藤建設(株)/グリーンパワー作並/栗田工業(株)/(株)栗本鐵工所/(株)建設技術研究所/コーツ工業(株)/(株)コウリョウ/古久根建設(株)/佐藤工業(株)/(株)サトー技建/佐藤鉄工(株)/三建設工業(株)/サンコーコンサルタント(株)/三洋テクニックス(株)/三洋テクノマリン(株)/(株)三洋設計/三和建設(株)/(株)芝玄/庄磁工業(株)/情報労連宮城県協議会/城北興業(株)/Wing(株)/水道機工(株)/(株)水機テクノス/西武建設(株)/星和電機(株)/(株)錢高組/仙建工業(株)/(社)全国上下水道コンサルタント協会/仙台環境開発(株)/仙台市/仙台市カヌー協会/仙台南地区広瀬川環境美化推進協議会/(株)大気社/大日本コンサルタント(株)/(株)大和エンジニアリング/大和電設工業(株)/大同機工(株)/(株)ダイワ技術サービス/瀧上工業(株)/(株)鷹泉閣岩松旅館/千田建設(株)/(株)中央コーポレーション/中央コンサルタント(株)/(株)長大/月島機械(株)/テクノ・マインド(株)/東京コンサルタント(株)/(株)東京鐵骨橋梁/東光電気工事(株)/(株)東信空調/(株)ドーコン/東鉄工業(株)/東北学院大学/東北三建サービス工事(株)/東北重機工事(株)/東北緑化環境保全(株)/東北遊技機商業協同組合/(株)東洋技研/東洋製工(株)/飛島建設/中野建設コンサルタント(株)/名取川水系水質汚濁対策連絡協議会/(特活)名取ハマボウフウの会/ニッカウヰスキー(株)/日本工芸(株)/日本ロード・メンテナンス(株)/能美防災(株)/八本松緑地愛護協力会/ソフィックコンサルタント(株)/(株)バスコ/東日本コンクリート(株)/広瀬川市民会議/(特活)広瀬川ボートくらぶ/広瀬川を楽しむ会/(株)深松組/(株)フジタ/フジタ道路(株)/富士通ネットワークソリューションズ(株)/(株)復建技術コンサルタント/前田建設工業(株)/(株)丸島アクリシステム/(株)丸徳鉄工/(特活)水・環境ネット東北/(株)みずほ電設工業/(株)宮城衛生環境公社/宮城県建設業青年会/美和電気工業(株)/八千代エンジニアリング(株)/(株)山下設計/横河ソリューションサービス(株)/(株)渡辺技工

平成28年3月現在114団体

広瀬川レポート

閑上海岸の会場担当の皆さんに
お話を伺いました

名取ハマボウフウの会 今野義正さん

三洋設計(株)

情報労連宮城県協議会 加島勇悦さん

赤間恵介さん

東洋建設

情報労連宮城県協議会 加島勇悦さん



杜の都・仙台のシンボルである広瀬川。その自然環境を守り、より多くの市民が親しめる広瀬川とするため、100万都市仙台の1%にあたる1万人をキーワードとして、市民・企業・行政が連携して様々な取り組みを行っています。

広瀬川1万人プロジェクト

2015年度活動報告

広瀬川流域一斉清掃レポート

秋の清掃ゴミの数 ※()は春の清掃
※ゴミの量は家庭用ゴミ袋換算です
秋の清掃参加者数 ※()は春の清掃

第19回 春の清掃 4月25日(土) ゴミの数合計 258袋 参加者数合計 1010人

第20回 秋の清掃 9月26日(土) ゴミの数合計 505袋 参加者数合計 1577人



広瀬川1万人プロジェクト実行委員会の主催で毎年4月と9月に広瀬川流域の一斉清掃を実施しています。4月はアースデイ9月は「広瀬川の清流を守る条例」が1979年9月28日に公布されたことにちなんでいます。

清流保全“から 川が活きるまち・くらし”へ

東北工業大学名誉教授

江成 敬次郎 氏

「広瀬川の清流を守る条例」制定40周年・
「広瀬川創生プラン」策定10周年記念

平成27年度

広瀬川フォーラム

広瀬川の清流を守る条例ができて40周年。仙台市が先駆けとなつた清流保全条例は、その後全国に広がつた。「広瀬川の清流とは、そのシンボルであるアユの野生動物をも含む流域の自然的環境を包括したものである」ということで、単に水のきれいさだけではなく、流域の自然的環境を包括したものの考え方を考へる。(中略)」が基本理念とされている。

この条例を補完する意味で今から10年ほど前に広瀬川創生プランができた。プランの重点事業として広瀬川1万人プロジェクトや広瀬川で遊ぼうをはじめ様々な取組みが行われている。今後の展開としては、広瀬川の魅力とファンの裾野を広げるということ、さらに、広瀬川市民会議と市民団体、企業との連携を強化するという方向を目指していくことを考えている。



パネルディスカッション

「広瀬川を生かした 川づくり・まちづくり」

◆コーディネーター

東北工業大学名誉教授 江成 敬次郎 氏

◆パネリスト

東北学院大学教授／
広瀬川清流保全審議会会長

広瀬川市民会議会長

方人プロジェクト実行委員長

株式会社仙台ラカササービス
代表取締役社長

東北放送株式会社
取締役 ラジオ局長

藤沢 智子 氏

鈴木 長成 氏

宮城 豊彦 氏

工藤 秀也 氏

木村 浩一 氏

仙台市教育文化財課

■四ツ谷堰の取水口から八幡町のあたりまで流れてくる間に、広瀬川に向かって北側の丘陵地から4本の沢・谷が合流していく。用水路が4つの谷を越えたことが由来になつているといふ説がある。上流側から葛岡近辺の針金沢、八幡町の元スケートセンター付近の聖沢、鶴沢、土橋道理付近のへり沢、どれも分かり難く、気がつかずに入っている方はたくさんいる。支川はほとんどまだ地中で埋まってしまったが、本川は暗渠になつていて、自分で歩くこともでき、洗い場の痕跡などもみることができる。地元の方々に知つて愛されることが自体を長く引き継いでいく一番大きな原動力になると思うので、多くの方に四ツ谷用水を改めて見て歩いて欲しい。(木村)

■人というのは何を知らないて何を知つているのかといつのは意外にわからず、知つてみて初めて知らなかつたといふ。広瀬川で遊びや作かつぱ祭りのようなイベント型・楽しみ型の活動は、非常に生きわつていて、楽しいのが愛しい。木村

■広瀬川で遊びや作かつぱ祭りの開催を増やすことをここ数年意識して、それがから必要になつてくる。(鈴木)

■広瀬川で遊びや作かつぱ祭りの開催を増やすことをここ数年意識して、それがから必要になつてくる。(鈴木)

■広瀬川で遊びや作かつぱ祭りの開催を増やすことをここ数年意識して、それがから必要になつてくる。(鈴木)



話をしてきました。
小学生を対象にした出前講座のように質問攻めにあつことはありませんでしたが、広瀬川の生き物を実際に観察する場面でははじめて見る生き物を興味深げに観察している姿が印象的でした。

尚絅高校の1年生2クラスを対象に広瀬川の出前講座を実施しました。
初回は10月9日に上藤実行委員長と事務局とで広瀬川の概要や生き物、広瀬川創生プラン等について

広瀬川出前講座



周りは芋煮でにぎわつていて、広瀬川の恵みを存分に味わうこと出来ました。



第一回広瀬川学校

10月4日(日)、広瀬川中河原緑地において、第1回「広瀬川学校」
～秋の広瀬川・生き物の暮らし～を開催しました。

講師の伊藤絹子先生は東北大大学大学院農学研究科に所属するとともに、広瀬川創生プラン策定推進協議会の会長代理も歴任されています。

ご専門の水産資源という観点から、産卵期を迎えたアユの観察を行いました。

広瀬名取川漁業協同組合にも協力をいただき、投配を利用してアユを釣りました。四ツ谷用水は郷六から取水し国道48号沿いの用水路と隧道を通じてまちの中を潤した。土地の勾配を利用した大変素晴らしい水システムが江戸時代にできていた。



置き、芭蕉の辻を中心に碁盤の目のようならまち割りをした。城下町の7割以上が武家屋敷の「侍のまち」でもあった。ほとんど無く、県庁のある上町段丘から沖積平野の河原町の間で30mも段差がある。まさに不可欠な水もこの勾配を利用して、四ツ谷用水は郷六から

東北工業大学名誉教授 江成 敬次郎 氏

「川が活きるまち・くらし」へ

ほとんど無く、県庁のある上町段丘から沖積平野の河原町の間で30mも段差がある。まさに不可欠な水もこの勾配を利用して、四ツ谷用水は郷六から

東北工業大学名誉教授 江成 敬次郎 氏

「川が活きるまち・くらし」へ